

# 来週の「売り物」記事はこれ



2014年11月21日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

## メジャーマウンドへの「長い道」 カブス 和田毅を支えた絆 23日(日)



「不屈の闘志」という言葉がいま、一番似合う日本人大リーガーといえば、シカゴ・カブスの和田毅投手(33)ではないでしょうか。ソフトバンク時代には107勝を挙げた実績を持つ左腕。日本でプレーを続けていれば「通算200勝」達成も期待される実力派でしたが、2012年に大リーグのオリオールズに移籍しました。しかし——。キャンプ中に左肘を故障し2年間を棒に振り、結局、オリオールズを解雇に。今季はカブスとマイナー契約でスタートしました。試練は続きました。そして、迎えた7月8日のレッズ戦でメジャーデビュー。目を見張る好投で、先発ローテーションの一角をもぎ取ったのです。「奇跡の復活」の背景には苦闘の日々とそれを支えた、ライバルであるはずの日本人大リーガーとの「友情の物語」がありました。



日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待ください。

## 「今のうち」なら自民は勝てるのか

### 5人の専門家が総選挙の各党獲得議席を大予測

夕刊2面特集ワイド 11月25日(火)



自民党が民主党から政権を奪還した2年前に続き、再び師走の総選挙が行われます。解散に踏み切った安倍晋三首相には「野党の準備が整わない今のうちなら与党が勝利し、長期政権も視野に入る」との狙いがあると指摘されていますが、本当に「今のうち」なら自民は大勝するのでしょうか。政治ジャーナリストの野上忠興さんや鈴木哲夫さん、政治学者の白鳥令さん、選挙プランナーの松田馨さん、政治評論家の有馬晴海さんに各党の獲得議席を予想していただきます。

衆院が21日に解散されました。第47回衆院総選挙は12月2日公示、14日投開票の日程で行われます。毎日新聞は政治部を中心に全国に張り巡らせた取材網を総動員し、多角的な選挙報道をしていきます。

来週はまず、各党による政権公約の発表が予定されています。公約のポイント、狙いなどを詳しく解説します。また、週の後半の朝刊では3日間にわたり、3人の有識者にそれぞれ政治論、経済論、社会論の観点から今回の衆院選を論じてもらう連載企画を展開します。

## 「女の気持ちをたずねて」 おんなのしんぶん面24日(月)

おんなのしんぶん

広島県福山市の金山朝子さん(60歳)は、60歳を過ぎてから、新しい職場に飛び込み、楽しく働いています。33年間、夫と続けた店をたたみ、1カ月過ぎたことから、「やっぱり、私は動いていないとだめ」と。「元気なうちは頑張る」と張り切っています。

## 孫育てのツボ「プレゼント選び」 くらしナビ面24日(月)



クリスマスやお正月など、これから贈り物をする機会が増えますね。孫へのプレゼントは、どういうものが適しているのでしょうか。本人がほしがる物を与えるだけでいいのでしょうか? 贈り物をする際に気をつけたい点や工夫について、百貨店のベビー・子ども用品売り場の担当者にアドバイスしてもらいました。

## 家計簿人気 くらしナビ面26日(水)

消費税の増税や、円安による日用品価格の上昇がある中で、家計を上手にやりくりするために今、家計簿が注目を集めています。家計簿をつけている家庭の方が、無駄な出費に気づくことができ、つけない家庭より貯蓄額が多いというデータも。スマホを使った家計管理や、従来の紙製のものなど、最近の家計簿事情を紹介します。



## 「東京(1964)からTOKYO(2020)へ」 第3部:レガシーはいま

25日(火)から5回



五輪憲章には、国際オリンピック委員会の役割として「オリンピック競技大会のよいレガシー(遺産)を、開催国と開催都市に残すことを推進」と明記されています。1964年東京五輪でも多くのレガシーが残されました。全国各地から参加した約10万人の聖火ランナー、選手村を活用した国立オリンピック記念青少年総合センター、総合馬術の会場となり、1998年長野冬季五輪のカーリングも実施された、世界で唯一の夏冬五輪開催地・長野県軽井沢町……。1964年のレガシーは今、どのように活用され、発展しようとしているのか、その「遺産」は2020年東京五輪にどう生かされるのかを探ります。